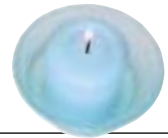


CHALLENGER

[挑戦者たち] 19



yumura tomoshibi no e

ゆむら灯火の景

但馬の厳しい冬をほっと暖かくしたい
温泉街を優しい光りで包む「ゆむら灯火の景」
冬場に人を集めるという困難な挑戦
住民参加型のプロジェクトが動き出す

長く厳しい但馬の冬

「但馬の厳しい冬に、ほっと暖かくなるイベントができないか」。しんしんと降り積もる雪と湯けむりを眺めながら、そう考える男たちがいた。男たちは、湯村温泉商店街振興会のメンバー。高齢化や空き店舗が目立つようになってきた商店街を盛り上げたいと、熱い思いを馳せる男たちだった。

兵庫県北部、鳥取との県境に位置する湯村温泉。その昔、慈覚大師が開湯したと伝わり、以来1500年、日本有数の高熱泉、湯量を誇る歴史ある温泉街である。

但馬でも雪の多い土地で、特に冬場の夜は寒さで出歩く人の数が減り、寂しさが漂う。数キロ離れた春來地区は、「春よ、はよ来い」との願いを込めて、名付けられたという。

物珍しい雪景色に喜ぶ観光客とは裏腹に、地元の人間にとっては歓迎せざるものであった。

「冬の湯村を活気づけたい」。暗くなりがちな冬場、町の人々の気持ちを少しでも明るくしたいという一心から湧き出た思いであった。

「スキー場やカニならともかく、冬場のイベントで人を集められるのか」。但馬の厳しい寒さに対する熱い挑戦が始まった。

新しいイベントの形

集客が難しい冬のイベント。家に閉じこもった人々の足を、いかに湯村の町へ向けさせるのか。難題に頭を抱えるメンバー。

そんな時、あるイベントの噂を耳にする。朝来市山東町で行われている「オキナレヨ」というイベントだっ

た。町中をイルミネーションで飾り、但馬内外からたくさんの人が訪れ、大変賑わっているという。

何かひとつでもヒントを得ようと、わらをもつかむ気持ちで視察に飛んだメンバー。そこで見たのは、自分たちの思いもよらないイベントの形だった。

「住民参加型のイベント」。聞けば、「オキナレヨ」のイルミネーションがここまで盛大になったのも、住民の協力があつたからだという。各家庭に飾られたイルミネーションは、住民が自発的に行ったものだった。

「まさに目からうろこでした。今までイベントを企画するといえは、客を寄せる仕掛けばかりを考えていた。しかし、オキナレヨは住民が主体となって盛り上げていました。長く続けていくには、住地域の一体化、

ふうき であいづくりの富貴

NPO (特定非営利活動) 法人

ベトナム交流協会

丹後全域・北但馬・福知山・綾部・舞鶴

未来のパートナーを早くみつけませんか？

そのかけはしを、私達スタッフが誠意をもってお手伝いします。

私達のモットーは結婚後もお世話人としておつきあいとよきアドバイスをさせていただく事です。ご安心ください。

〒669-5311 兵庫県豊岡市日高町日置字矢組22-35 サンロード1F (江原駅前・312号線)

TEL.0796-42-5057 (年中無休) ●スタッフ常時募集

※家族という場所がいちばん幸せだ。——— あたりまえのことがいちばんだ。



メイン会場の巨人雪像(第4回開催)

住民が楽しいと思えるかが大事だと痛感しましたね」と、メンバーの一人は語る。

また、光で町を照らすというイベントのテーマにも、心を動かすものがあつた。湯村の町も夜になると、源泉「荒湯」周辺を除いて、街灯が道を照らす程度。人の心を癒す光の持つ力に魅力を感じた。

「自分たちの町も光で明るく照らしたい」。住民が一体となった取り組みを目の当たりにして、ますます意欲に燃えるメンバー。「これしかない」、目標は定まった。

「雪」を逆手にとる

大きなヒントを手土産に、新しいイベントの企画にとりかかった面々。しかし、イルミネーションで町を照らすというアイデアは、二番煎じになつてしまうという意見があがつた。「何か湯村ならではといえるエッセンスを、付け加えられないだろうか」。このイベントを但馬の冬の風物詩にしたいという気持ちで、さらなる欲求へと駆り立てた。

あるメンバー、ひとコマの新聞記事に目が止まった。それは、鳥取県智頭町で雪まつりが開催されるという内容。現地に赴くと、思い思いに作られた雪像や雪灯籠が飾られてい

た。そこには雪とふれあう地元住民の姿があつた。「これだ」と、メンバーの誰かが思った。

「いくら嫌だと思つても冬は来るし、雪は降る。どうせならとことん雪にこだわろうと思ひました。雪を楽しめるイベントになれば、人の足を動かせると考えたんです」と、当時は振り返る。

まさに、メンバーの前向きな気持ちがあつた逆転の発想。これならいけると誰もが予感した。

「智頭で見た雪まつりは、札幌で行われているような盛大なものではありませんでした。でも、地元の人が温かいぜんざいをふるまう光景や、どこから来たのと声をかけ合う姿。穏やかな気持ちにさせてくれるもてなしがありました。住民の参加が必要だとより強く感じましたね」。「雪」という思いもつかなかつた発想を手に入れた湯村温泉街の挑戦は、いよいよ現実のものになっていく。

思いがけない出来事

平成16年2月。雪・光・音、ハーモニーをテーマに、癒される灯の世界「ゆむら灯火の景」と題し、湯村温泉で冬のイベントが開催された。3つの会場をメインにして巨大雪像を作り、ろうそくを灯すというもの。



舞鶴かに

冬はカニの美味しい季節！
全国有数のブランド「舞鶴かに」
本場のカニをじっくり堪能してください。

舞鶴湾でとれた新鮮で身が大きく、
味も濃厚な「舞鶴かき」を使用。
「舞鶴かき丼」は市内の各提供店にて！

舞鶴かき丼



赤煉瓦の街 舞鶴 冬の名物

舞鶴かに マップ2007 配布中!

舞鶴かに
舞鶴かき丼



舞鶴観光協会(問)0773-66-1024(土日祝休)
東舞鶴駅観光案内所(問)0773-65-2100
西舞鶴駅観光案内(問)0773-78-9300
<http://www.maizuru-kanko.net>



灯りが点灯した瞬間、歓声があがった。訪れた人々からかけられる「綺麗だ、癒される」の声。自分たちのやってきたことに間違いはなかったと思える瞬間だった。

雪とたわむれる子供たちにつられて、大人も雪遊びに夢中になる姿が見える。そこには自分たちが思い描いた光景が広がっていた。

ひとまずの成功に胸をなで下ろす一同。しかしながら、当初から目標に掲げていた住民参加のプロジェクトがうまくいっているかという不安が頭をかすめる。メンバーたちは事前に温泉街の各家々を回り、カップに入つたろうそくを軒先で照らしてくれるよう要請していた。

「本当にろうそくを出してくれるだろうか」。その不安は、一瞬にして喜びへと変わる。ろうそくの光が、温泉街をやさしく包み込んでいた。予想を遙かに越える協力を、胸をこみあげる何かがあった。

さらに驚くべき路地裏の光景を目にする。誰にもうながされることなく、住民が手作りで仕上げた雪像が置かれていたのだ。

「ろうそくを出してくれるかさえ不安だったのに、雪像まで作ってくるとは本当にうれしかったですね。そこには楽しんでイベントに参加し

ているという気持ちが見えました。住民参加と言いつながら、そこまで協力はしてくれないだろうと、知らず知らず内にブレイキをかけていた。イベントを来年も続けていく上で、大きな励みになりました。

この出来事は、イベントをさらに進化させるきっかけとなる。翌年、雪像コンテストが新たに企画として組み込まれるようになったのだ。

趣向を凝らした可愛らしい手作りが灯した灯火は、2年目にして、街中を照らす大きな灯りとなった。与えられたイベントでは決してなし得ない暖かさに満ちあふれていた。

広がる「協力の輪」

「春よ、はよ来い」と待ちわびた住民の気持ちを、見事に溶かした「ゆむら灯火の景」。2月には5回目を迎へ、さらなる新しい取り組みに向けて企画会議が行われている。

「参加型のイベントでは、人々の行動を見ているだけでも楽しい。毎回、驚きと発見の連続。そこにはアイデアのヒントが隠されているんです」。

会場に置かれた山盛りの雪は、誰でも自由に雪像を作ってもらおうと用意したもの。これは都会から来た観光客がきっかけになったという。

新装オープン!

2007年10月、ライフィット本店は下記に移転しました。

ライフィット本店 豊岡市加広町3番28号
TEL.0796-24-20 11 E-mail:info@lifit.jp
FAX.0796-24-207

和和田店
 朝来市和和田山町玉置1107-4
 サンライズ和和田山102号
 TEL.079-672-6565
 FAX.079-672-6566
 E-mail:wadayama@lifit.jp

■土・日曜も営業しています!
お気軽に立ち寄り下さい!

株式会社ライフィット
 (社)兵庫県宅地建物取引業協会 宅地建物取引業者免許
 兵庫県知事(3)650061号
 ●ご希望の物件を検索できます。詳しくはホームページで。
 ●大好評!情報誌「ライフィットタイムズ」無料進呈中!!

豊岡駅前店
 豊岡市大手町1番27号
 TEL.0796-26-6565
 FAX.0796-26-6566
 E-mail:ekimae@lifit.jp

ライフィット
 ラクラク物件検索
 http://www.lifit.jp/



ほのぼのとした気持ちになる住民によるミニ雪像



ライトアップされた源泉「荒湯」周辺



6月のかくれんぼ人会は今や全国的なイベントになった



「旅館に泊まっていた方が、楽しんで雪像をさわっていたんです。それまで、観光客にはいかに見てもらうかばかりを考えていました。参加したい気持ちは、誰も同じ。やってみないと分からない発見でした」と語る。

住民のイベントに対する気持ちも年々高まっている。雪像作りの足しになればと、せつかく降った雪が溶けないうち、日陰に雪を溜めてくれる家もあるのだとか。邪魔者だった雪も、今では待ち望む存在となっている。

そうした協力の輪は、商店街だけでなく、観光客の呼び水となるようにと行政や旅館組合にも広がり、これまで縦割りで行われがちだった観光振興にも好影響を与えた。

昨年は湯村温泉の「若女将会」による、使用済みの食用油で作ったキャンドルの灯りがメイン会場を照らした。今年は環境に配慮した試みを

さらに一歩進めようと、ペットボトルを再利用した「キャンドルツリー」が飾られるという。

また、6月に行われる恒例の「全日本かくれんぼ大会」、昨冬、廃校になる小学校をキーに見立てて飾り付けた「温泉小学校サンタプロジェクト」など、住民が主体となって企画を展開。荒湯周辺を色とりどりの照明で照らすライトアップ事業も観光客に好評で、ぬくもりをテーマにした観光地作りが進められている。

商店街に活気を取り戻そうと始まった「ゆむら灯火の景」。温泉街の白い湯けむりの中にゆらめく灯火は、地元住民はもちろん、訪れた人々の心を優しく照らしている。

■「第5回ゆむら灯火の景」
開催日時：2月9日(土)、10日(日)・17時30分～21時30分。場所：新温泉町湯(湯村温泉・本町中心街)。

◆ソル 太陽をイメージした色

◆エアロ 空気をイメージした色

◆アクア 水をイメージした色

ナチュラルカラーリストとは…

自然の風景や花は見る人の心を魅了します。なぜなら人間は自然と密接に関わって生きているからです。ナチュラルカラーリストとは自然からカラーコーディネート学ぶ人のこと。自然の配色には血液型のように3つの色型があり、私たち人間も一人一人がそれぞれの色型を持っています。自分の色型と同じ自然の色を身に纏うとあなたももっとも輝きます。さあ、今日からあなたも自然色でまとうませんか？

ナチュラルカラーリスト 香山祐子

大人のあなたに…
愉いきもの

おしゃれきもの
野木纏家

京都府京丹後市大宮町口大野173番地
電話：0772-64-2241
URL：http://www.nogimatoya.jp/
営業時間：10:00～19:00 定休日：水曜日

Natural Color